

秋田港・能代港・船川港に係る要望

地方創生と日本のエネルギーを支える
秋田の港湾整備を目指して

平成 27 年 8 月 26 日

秋田商工会議所	会頭	三浦	廣巳
秋田港振興会	会長	三浦	廣巳
秋田みなと振興会	会長	矢吹	達夫
一般社団法人秋田県貿易促進協会			
	会長	齊藤	健悦
能代商工会議所	会頭	広幡	信悦
能代港湾振興会	会長	齊藤	滋宣
船川港港湾振興会	会長	西宮	公平
男鹿市商工会	会長	加藤	義光

秋田県内の重要港湾、秋田港、能代港、船川港の整備につきましては、平素よりご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

秋田では、経済発展著しい日本海対岸や東南アジア諸国の成長を取り込み地方創生を実現するため、環日本海の経済交流を推進し諸外国との貿易拡大に地元企業と行政が一体となって取り組んでおります。これを支える最も基礎的な社会資本として県内各港湾の整備を着実に推進することが肝要です。

また、秋田の港湾は、発電所、LNG基地、国家石油備蓄基地などの立地によりエネルギー供給拠点としての役割を果たしてきました。さらに能代石炭火力発電所の発電機増設、秋田港への新たな火力発電所の立地計画、能代、秋田両港での洋上風力発電施設の立地計画などが進捗しており、日本を支えるエネルギー拠点としての重要性が増し、これを支える港湾の役割も重くなっています。

秋田の港湾は、地域の経済社会のみならず我が国の社会活動を支える重要な任務を担っており、必要な施設の整備を進めるとともに、平素からの維持管理により機能を保持し続けることが不可欠です。このために必要な港湾関連予算を十分に確保いただきますよう強く要望いたします。

東日本大震災においては、秋田県の各港に入った支援物資が太平洋側に輸送され、被災地の復旧復興に役立ちました。地域の防災力の強化とともに、大規模災害時の広域的対応のためにも日本海側、秋田県の各港を防災拠点として活用するべきと考えます。

このためにも各港における耐震強化岸壁の整備や、緊急物資を展開するための道路網とのアクセス強化が必要と考えます。東日本大震災の際に秋田港と秋田自動車道とのアクセスがもっとスムーズであったならより効果的な支援が展開出来たのに、と残念でなりません。さらに、船川港至近には、東北最大の政府米備蓄用の定温倉庫や国家石油備蓄基地が立地しており、こうした施設と一体となった国民の安心安全のための防災拠点作りが必要と考えます。

また、秋田では港湾に大型船舶が入出港する際に必要な水先人が不足しています。港湾運営上、致命的な問題ですが、地方では水先人の高齢化が進み、その後継者が確保できないのが現状です。全国的な課題として水先人の確保について取り組む必要があります。

これらは、中長期的視点から国の施策として是非取り組んでいただきたいと考えます。

しかし、より速やかに解決すべき喫緊の課題を秋田港、能代港、船川港の各港で抱えています。今般は、まずは各港におけるこれら喫緊の課題を克服するため、国のご協力を要望するものです。各港毎の課題を以下に挙げさせていただきます。

<秋田港>

秋田港は、本年1月に国際コンテナターミナルの拡張により年間コンテナ取扱能力が10万TEUに拡大し、環日本海交流を支える物流拠点としての益々の発展が期待されています。

また、新たに大規模な石炭火力発電所や洋上風力発電施設の建設が予定されており、エネルギー供給拠点としても更なる発展が期待されます。

環日本海交流の推進による物流増加を見据えた機能強化、そして予定されるエネルギー関連施設の建設・運用に資するため、外郭施設整備や浚渫など港湾整備を着実に実施することが必要です。

また、エネルギー関連施設の建設・稼働等に伴い、港湾周辺における労働者の増加が見込まれます。港湾背後地の人命・財産を守る津波対策を早急に実施する必要があります。

<能代港>

能代港は、秋田県県北の海の玄関口であり、能代火力発電所の立地するエネルギー供給拠点です。また、リサイクルポートとして地域経済の活性化に貢献することが期待されています。

現在、能代火力発電所で発電機の増設が進められており、年間を通じた安定した燃料供給のため能代港の静穏度向上と泊地の水深確保が急務です。また、周辺地域への陸上風力発電所の建設、風力発電施設のメンテナンスセンターの立地、能代港港湾区域での洋上風力発電計画も進んでおり、風力発電関係の設備・部品等の荷役が安定的に行える港湾施設が必要です。このため、港湾整備を着実に実施することが必要です。

＜船川港＞

船川港は、古来より風浪の激しい冬季の日本海においても静穏な天然の良港であり、現在でも冬季を中心に秋田港を利用する船舶の避難港ともなっています。

一方で船川港は、県の公表した発生頻度の高い津波に対し県内の港湾で唯一、既設堤防の高さが設定津波より低いと想定されています。このため、地域住民の生命と財産を守るための施設整備や臨港地区内の避難計画や避難施設整備等の安全対策が急務です。

また船川港は、毎年内航クルーズ客船の寄港も見られ、今後は外航クルーズ客船の寄港も期待されます。男鹿市は港の背後地に複合観光施設の整備を進め、港を核とした交流人口の拡大による地域活性化、地方創生を目指しています。船川港の第二船入場防波堤は、土木学会の選奨土木遺産とされ観光資源としても価値がありますが、老朽化による損傷が激しく港湾利用上も早急な補修が必要です。

以上を踏まえた要望事項を以下に取りまとめましたので特段のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

＜要望事項＞

1. 各港共通

港湾関連予算の確保

2. 秋田港の整備

- (1) 環日本海交流の拠点であり、エネルギー供給拠点である秋田港を支える国直轄事業による外郭施設及び飯島地区泊地（－11m）の整備促進
- (2) エネルギー関連施設の建設に資する港湾施設整備への支援
- (3) 港湾背後地の人命・財産を守るための津波対策施設整備への支援

3. 能代港の整備

- (1) エネルギー供給拠点である能代港における国直轄事業による外郭施設及び大森地区泊地（－13m）予防保全事業の整備促進
- (2) 洋上風力発電施設建設に関連した港湾施設整備への支援

4. 船川港の整備

- (1) 港湾背後地の人命・財産を守るための津波対策施設整備への支援
- (2) 歴史的土木建造物の補修及び維持管理への支援